

# 総合研究大学院大学ウェブサイト・リニューアル業務仕様書

## 1 業務概要

### 1 件名

総合研究大学院大学ウェブサイト・リニューアル業務（日本語版、英語版） 一式

### 2. 目的

本学は、大学共同利用機関等世界トップクラスの研究機関を基盤とする、大学院大学であり、世界最先端の研究拠点を教育の現場として、高い専門性を持った博士人材の育成を行っている。一方で、刻々と変化する学術分野の動向や社会の要請を踏まえ、複合的・融合的な課題に取り組む研究者人材を育成していく必要がある。そのため、2023年4月よりこれまでの教育体制を見直し、先端学術院のもと、高度に専門的な教育リソースを、分野を超えて柔軟に活用できる体制を構築する予定である。

本業務は、上記本学の方針を踏まえ、本学が世界トップクラスの研究機関を基盤とした大学院大学という、他に類を見ない特色をわかりやすく明確に提示するとともに、それら高度に専門的な様々な教育・研究リソース等を横断的に表現する等、ウェブサイト訪問者が本学の魅力をインタラクティブに体験できるウェブサイトへ、リニューアルするものである。あわせて、ウェブサイト訪問者が目的とする情報を取得しやすく、また訪問者からのフィードバックを機動的に反映できるよう、ウェブサイト構造を見直し、必要な改善を行う。

### 3. 納入期限

2023年3月31日(金)

### 4. 本業務が対象とするウェブサイト

本業務において、リニューアルを行うウェブサイトは、以下のとおりである。

- [日本語版公式サイト] <http://www.soken.ac.jp/index.html>
- [英語版公式サイト] <http://www.soken.ac.jp/en/index.html>

また、以下のウェブサイトには先端学術院に関連する情報が掲載されており、これらコンテンツも、リニューアル後の次期ウェブサイトに移行するものとする。

- [日本語版特設サイト] <https://next20.soken.ac.jp/>
- [英語版特設サイト] <https://next20.soken.ac.jp/en/home>

## 5. 委託業務の範囲

下記に示す事項を委託範囲とする。

### ① クラウド型 CMS の導入

次期ウェブサイトは、運用コストの低減を目的に、クラウド型の CMS をベースとし、サーバのホスティングサービスが含まれていること。導入する CMS は、「II ウェブサイトの制作要件 5. CMS」に定める機能を有すること。

### ② ディレクトリマップの作成

本学の公式ウェブサイトの現状を踏まえ、本学担当者と協議のうえ、次期ウェブサイトのディレクトリマップを作成する。作成にあたっては、「II ウェブサイトの制作要件 2. 構造・デザイン」及び別紙1「参考資料：ディレクトリマップについて」を参照すること。

### ③ ワイヤフレーム及びデザインテンプレートの作成

本学担当者と協議のうえ、主要なページのワイヤフレーム及びデザインテンプレートを作成する。作成にあたっては、「II ウェブサイトの制作要件 2. 構造・デザイン」及び別紙3「参考資料：ワイヤフレームについて」を参照すること。

### ④ 次期ウェブサイト構築

上記に基づき、次期ウェブサイトを構築する。構築にあたって、CMS 以外のサービスを組み合わせる場合は、本学担当者と都度協議を行うとともに、設定内容等について、ドキュメント化するものとする。

### ⑤ コンテンツの移行

「II ウェブサイトの制作要件 3. コンテンツの移行」を踏まえ、上記「4. 本業務が対象とするウェブサイト」に記載した4サイトからデータを移行する。なお、移行するデータは、現行ウェブサイトより抽出可能な範囲で CSV 形式にて本学より提供するが、抽出できなかったデータや、移行作業を行う上で十分なデータが含まれていない場合等は、本学担当者と協議のうえ移行の方針を決定するものとする。なお、現行ウェブサイトのページ数は、以下のとおりである（2022年8月5日時点）。

- ・ 固定ページ 438 ページ
- ・ 記事ページ 1864 ページ

### ⑥ 新規コンテンツ等の作成

「II ウェブサイトの制作要件 4. 新規コンテンツの作成」を踏まえ、新たに追加する必要のあるコンテンツやツールについて、本学担当者と協議のうえ、作成する。

⑦ 次期ウェブサイトの運用体制及び運用方法に関する提案

「II ウェブサイトの制作要件 6. 保守・運用」を踏まえ、ウェブサイト運用のための体制(アカウントの種類と役割)や運用方法について、提案を行うものとする。

⑧ ドキュメント・マニュアル等の整備

「II ウェブサイトの制作要件 8. 各種ドキュメント」に記載のとおり、各種ドキュメント及びマニュアルを作成すること。

⑨ 運用サポート

「II ウェブサイトの制作要件 9. 運用へ向けたサポート」に記載のとおり、本学担当者向けの操作説明会等、運用に向けた各種サポートを提供すること。

6. 本学が予定する運用環境

本学のウェブサイト管理者のクライアント PC 環境は、以下を前提とする。

① OS : Microsoft 社製 Windows 10 以降

② ブラウザ : Microsoft Edge 103 以降

その他、Google Chrome, Safari の各最新バージョンにおいて、意図通り正しく挙動すること。

## II ウェブサイトの制作要件

### 1 制作方針

本学ウェブサイトのターゲットは、以下のとおりである。

- ・ 志願者
- ・ 在学生
- ・ 修了生
- ・ 一般

これら多様なターゲットが、目的とするコンテンツへ容易にたどり着き、また「I 業務概要」「1. 目的」のとおり、本学の特色や魅力を体験する場を提供する。

### 2 構造・デザイン

現行のウェブサイトでは、入試関連ページへのアクセス数が多く、またモバイルからのアクセスが増加傾向にある。それらのことを踏まえ、最適な構造・デザインを提案、設計

すること。

#### ① サイト構造

- (ア) サイト訪問者が、目的とする情報を効率的に取得できるよう、訪問者の視点に立ち、ディレクトリ構造、ナビゲーションメニュー構造、コンテンツのカテゴリライズが行われること。
- (イ) サイト訪問者にとって優先度・必要度の高いコンテンツを適切に配置すること。

なお、上記の検討にあたっては、現時点で本学が想定している、日本語サイトにおける第3階層までのディレクトリマップ（別紙1「参考資料：ディレクトリマップについて」）、並びに、CMS記事に設定するタグ（別紙2「参考資料：CMS記事に設定するタグについて」）を参照すること。

#### ② デザイン

- (ア) ウェブサイト訪問者が本学の魅力を体験できるよう、画像や映像、アニメーション等を活用した、視覚的に捉えやすいデザインであること。
- (イ) サイト訪問者のデバイスの画面サイズに応じて、最適なページデザインとなるよう、レスポンシブデザインに対応すること。
- (ウ) 今後継続的に、サイト全体が統一的なデザインとなるよう、フォント（和・英）等各種CSSの設定を行うこと。

なお、デザインの検討にあたっては、現時点で本学が想定しているワイヤーフレーム（別紙3「参考資料：ワイヤーフレームについて」）を参照すること。

#### ③ アクセシビリティ

World Wide Web Consortium(W3C)に準拠した構造となっていること。

### 3 コンテンツの移行

現行ウェブサイトからのコンテンツの移行について、以下の要件を満たしていること。

#### ① ディレクトリ対応表

コンテンツの移行にあたっては、現行ウェブサイトと次期ウェブサイトの掲載場所（ディレクトリ）の対応関係を表す表を作成すること。

#### ② コンテンツの整理

記事として作成するコンテンツと、固定ページとして作成するコンテンツを明確に整理すること。その際、「6. 保守・運用 ①アカウントについて」に記載のとおり、運用アカウントでは作成、修正等が行えるのは記事として作成するコンテンツであ

ることから、現状ウェブサイトにて固定ページとして作成されているコンテンツであっても、記事として作成が可能か、検討すること。

③ SEO 対策

コンテンツの作成にあたっては、見出しタグの整理や、メタディスクリプションの記載等、SEO 対策を行うこと。

④ 緊急時メッセージ

緊急時（災害等）に、緊急時用ページやメッセージをトップページに表示する機能を有すること。

#### 4 新規コンテンツの作成

「I 業務概要」「1. 目的」のとおり、ウェブサイト訪問者が本学の魅力を体験できる新たなコンテンツ、もしくは内容を拡充する必要のあるコンテンツについて、必要に応じて提案すること。提案されたコンテンツは、本学担当者と協議のうえ、制作するものとする。また、制作にあたって CMS 以外の外部サービスの利用が必要な場合は、その旨提案を行い、本学担当者と協議を行うこと。また、以下のコンテンツについては、必ず新規で作成するものとし、より充実した内容となるよう、必要な提案を行うこと。なお、() 内には、別紙 3「参考資料：ディレクトリマップについて」の「次期ウェブサイト：ディレクトリマップ案」の該当するページ番号を記載している。

① 大学紹介ページ (C7-1)

本学の特色を説明する大学紹介ページを作成する。画像や動画、アニメーション等を使い、本学の魅力を体験できるコンテンツを設置する。なお、本学で有する動画コンテンツは、以下を参照すること。

- ・ 本学の YouTube チャンネル：

<https://www.youtube.com/channel/UC7MuriWACQ7x8SMXFjVRWIg>

② 検索ページ (C15)

サイト内検索機能を設置する。検索結果は、サイト訪問者が目的とする情報を視覚的に容易に把握できるよう、コンテンツの種類や記事カテゴリ等が識別されやすい形で表示するなど、デザインを工夫すること。

③ 記事一覧ページ (C1-1, C2-1, C3-1, C6-1, C8-1, C9-1, C10-1, C11, C12)

CMS 記事にタグを設定し、タグに基づきフィルタリングを行えるしくみとする。フィルタリングの設定においては、サイト訪問者が目的とする情報をインタラクティブ

ブに検索できるよう、簡便で直感的なデザインで作成すること。なお、本学が現時点で想定する CMS 記事に設定するタグ、並びに、記事一覧ページを設置する階層については、以下資料を参照すること。

- ・ CMS 記事に設定するタグ：別紙 2「参考資料：CMS 記事に設定するタグについて」
- ・ 記事一覧ページを設置する階層：別紙 1「参考資料：ディレクトリマップについて」

#### ④ コース一覧ページ(C4)

先端学術院のもとに設置される予定である 20 コースについて、一覧で表示するページを作成する。また、各コースの情報、キーワード等により、フィルタリングできるしくみとする。現在想定している、コース一覧ページに掲載する項目は以下のとおりであるが、高い利便性と訴求性を持ったページとなるよう検討すること。なお、必要なデータは本学より提供するものとする。

- ・ コース名
- ・ 研究機関名
- ・ コース基本情報
- ・ コース概要
- ・ イメージ画像（複数ファイル）
- ・ コース関連動画
- ・ キーワード
- ・ 修了後の主な進路
- ・ 研究機関へのリンク

また、当該ページは、CSV ファイル等をインポートすることで、随時一括して更新可能であることが望ましい。なお、現在、現行の特設ウェブサイトにて、以下のとおりコース一覧を掲載している。

- ・ 現行の特設ウェブサイト該当ページ：  
<https://next20.soken.ac.jp/20course>

#### ⑤ 教員一覧ページ(C5)

本学の教員一覧を掲載する。各教員の情報、キーワード等によりフィルタリングできる仕組みとする。現在想定している、教員一覧ページに掲載する項目は以下の通りであるが、高い利便性と訴求性を持ったページとなるよう検討すること。なお、必要なデータは本学より提供するものとする。

- ・ 教員名
- ・ 所属コース名
- ・ 所属研究機関名

- ・ 職名
- ・ 研究分野
- ・ 研究キーワード
- ・ 学位
- ・ リンク
- ・ 直近の論文情報

また、当該ページは、CSV ファイル等をインポートすることで、随時一括して更新可能であることが望ましい。

⑥ 数字で見る総研大(C7-7)

現行ウェブサイトの下記ページについて、各種データが視覚的に捉えやすく、本学の特徴が訴求力をもって表現されるよう、再構築する。

- ・ 現行ウェブサイトの該当ページ：  
<https://www.soken.ac.jp/outline/dbook/>

5 CMS

導入する CMS は、以下の要件を満たしていること。

- ① クラウド型サービスであり、サーバのホスティングサービスが含まれていること。
- ② 独自のドメイン設定が可能であること。
- ③ SSL 対応していること。
- ④ コンテンツを HTML 及び CSS 等にてエクスポートする機能を有すること。
- ⑤ 「I 業務概要」「1. 目的」のとおり、機動的にコンテンツの更新等が実施できるよう、コンテンツ作成機能として、以下の要件を満たしていること。
  - (ア) HTML、CSS を使用せず、記事や新規ページの作成が可能であること。
  - (イ) テキストの他、画像、動画、アニメーションを含んだコンテンツが作成可能であること。
  - (ウ) 画像をスライドショー形式に表示するなど、インタラクティブな表示が可能であること。
  - (エ) Google Map 等地図の表示が可能であること。
  - (オ) 登録フォーム、問い合わせフォームの設置が可能であること。
  - (カ) CMS 上で、HTML, CSS, Javascript の入力が可能であること。
  - (キ) “iframe” タグ等により、外部コンテンツを埋め込むことができること。
  - (ク) サイト内検索機能を有すること。

- ⑥ 記事の作成、管理機能として、以下の要件を満たしていること。
- (ア) 記事を CSV 等のファイル形式にて、インポート及びエクスポートする機能を有すること。
  - (イ) 記事は、タグによりカテゴリー等を設定することが可能であること。
  - (ウ) タグによるカテゴリー設定に関して、少なくとも別紙 2「参考資料：CMS 記事に設定するタグについて」で指定するタグの設定が可能であること。
  - (エ) 複数のタグを組み合わせて、記事のフィルタリングが可能であること。
  - (オ) 記事の一覧が、ウェブサイト全体のいずれのページにおいても、設置可能であること。
  - (カ) 記事の一覧は、1 ページでの表示件数が設定可能であること。
  - (キ) 記事の一覧は、並び順を決定する項目の選択が可能であり、また昇順・降順いずれかを選択できること。
  - (ク) 記事の公開開始日が設定可能であること。
  - (ケ) 公開前の記事のプレビュー機能を有すること。
  - (コ) 記事作成に当たっては、以下の要素が設定可能であること。
    - ・ テキスト
    - ・ 画像
    - ・ 動画
    - ・ カレンダー
    - ・ タグ指定
    - ・ ファイル添付
    - ・ リンク (URL)
    - ・ HTML
- ⑦ メニュー構造の設定に関して、以下の要件を満たしていること。
- (ア) HTML, CSS の知識を要せず、メニュー構造の修正が可能であること。
  - (イ) 和・英それぞれのメニュー構造の設定が可能であること。
- ⑧ デザイン設定に関して、以下の要件を満たしていること。
- (ア) サイト全体で、特定のページで行ったデザイン設定が共有可能であること。
  - (イ) サイト全体で、ヘッダー、フッター等共通する要素については、一括で修正可能であること。
  - (ウ) 既存ページの複製が可能であること。
  - (エ) レスポンシブデザイン (閲覧ユーザが使用するデバイスの画面サイズに応じて表示を最適化するデザイン) に対応していること。すなわち、画面サイズに応じたデザインの設定が、HTML、CSS を使用せずに可能であること。
  - (オ) Web フォントの追加設定が可能であること。



- ⑨ RSS2.0 のフィード機能を有すること
- ⑩ ページ単位で、パスワードを設定し、閲覧を制限可能であること。
- ⑪ SEO 設定に関して、以下の要件を満たしていること。
  - (ア) 検索結果のプレビュー表示機能を有すること。
  - (イ) ページタイトルのタグ設定が可能であること。
  - (ウ) メタディスクリプションの設定が可能であること。

## 6 保守・運用

次期ウェブサイトの保守・運用について、以下の要件を満たしていること。

- ① アカウントについて
  - (ア) 次期ウェブサイトの管理は、以下 3 種類のアカウントによって運用するものとし、その運用範囲にて権限設定を行うこと。
    - ・ 管理者： ウェブサイト全体を管理する者
    - ・ 運用者： 記事を投稿・公開する者
    - ・ 投稿者： 記事を投稿する者
  - (イ) ログインIDとパスワードに加え、2段階認証によりログインするものとする。
- ② セキュリティについて
  - (ア) SSL が使用されていること。
  - (イ) ユーザの操作履歴を管理できること。
  - (ウ) バックアップが保持され、特定の期間バックアップの状態まで復元することが可能であること。
  - (エ) 導入する CMS の提供基盤となるクラウドサービスプロバイダーが、政府情報システムのためのセキュリティ評価制度 (ISMAP) に準拠した認定を受けていること。
- ③ 恒常的なウェブサイト改善活動につながるよう効果的なサイト分析方針を定め、GoogleAnalytics 等アクセス解析ツールを使用したアクセス解析結果が定期的に確認できるものとする。

## 7 知的財産等

ウェブサイトのデザインやサイト内に配置する画像等（地図、イラスト、写真、ロゴ等）の著作権は本学に帰属させること。また、第三者の知的所有権を侵害しないものであること。また、成果品は本学が作成する他のウェブサイトや、本学の各種情報提供媒体に自由に使用できるものとする。

## 8 各種ドキュメントについて

開発、導入作業開始から納品までの期間に、以下①～③に示す各資料について、本学担当者の確認を経て提出すること。なお、各種ドキュメントは、すべて日本語で記載すること。

### ① 導入、開発作業実施前に、以下の資料を提出すること。

#### (ア) 実施計画書

作業内容、作業体制、作業スケジュールを記載すること。

#### (イ) 各種デザインデータ

#### (ウ) 詳細設計書

ディレクトリマップ、ワイヤーフレーム、画面遷移等、ウェブサイトの実装する機能・設計を記載すること。

### ② 開発、導入作業着手から、納品までの期間、以下の資料を提出すること。

#### (ア) 作業進捗報告書

上記①にて提示された作業スケジュールに基づき、進捗状況を報告すること。

#### (イ) 操作マニュアル

学内の CMS 管理者、ユーザに対して分かりやすく操作方法を解説したマニュアルを作成すること。

### ③ 納品時、各種マニュアルを電子媒体にて提出すること。マニュアルには、CMS の基本操作、サイト運用方法を含むこと。

## 9 運用開始へ向けたサポート

運用時のサポートとして、学内の CMS 管理者、ユーザを対象に操作説明会を開催するほか、新規サイトの円滑な運用開始に向けた必要な支援を行うこと。

## 10 アフターサポート

本ウェブサイトを納入後、以下の内容を含む1年間のアフターサポートを提供すること。ただし、別途、有償による年間保守契約を締結する必要がある場合は、本件業務に係る見積書とは別に、概算費用を提示すること。その他、不明な点については、本学担当者との協議の上、決定するものとする。

○ 本学からのウェブサイトに関する質問・問い合わせ、CMS の運用等に関する問い合わせについて、対応するヘルプデスクを提供すること。

○ 瑕疵とアフターサポートは区分を別とすること。業務完了後に、受託者側の瑕疵に起因する支障や不具合が発生した場合には、受託者の責任において無償で対応する

こと。瑕疵に対応する期間は納品完了時から起算して1年間とすること。

## 11 その他

- ① サイト構造、ページ内容、デザイン等については、本学担当者と協議し、双方にて確認し、本学担当者の承諾をもって、制作を進行すること。受託者は、受注決定後、速やかに企画設計から制作にかかる一連のスケジュールを示すこと。
- ② 円滑な制作と移行を行うため、進捗状況等の確認を目的に定例会を開くこと。
- ③ その他、制作上、疑義が生じた場合は、本学と協議の上、制作を進行するものとし、不明な点は、本学担当者の指示を仰ぐこと。
- ④ 本学より貸与された資料等の複製・複写の可否、返却等は本学の指示に従うものとする。また、業務上知り得た秘密は厳守し、業務終了後も同様とする。なお、本件契約締結に併せ、本学と受託者との間に、秘密保持契約を締結するものとする。